

6. 減災対策における取組状況等について【資料-5】

夕張川上流地域部会

北海道

令和5年度 石狩川下流域減災対策協議会 空知総合振興局地域創生部の取り組み

空知総合振興局 地域創生部

(北海道地域防災マスター認定講習)

・ボランティアにより地域の防災活動に取り組んだり、災害時に於ける地域の防災リーダーとして活躍する「北海道地域防災マスター」を認定するため、講習会を開催

札幌管区気象台による
避難時行動に関するワークショップ

○日時

第1回（開催地：浦臼町）
令和5年12月6日（水）
（参加者61名）

○講習項目

- ・防災リーダーの役割、行動
（講師：空知総合振興局）
- ・気象基礎知識
- ・避難時行動に関するWS
（講師：札幌管区気象台）
- ・救急時の対応技術
（講師：滝川駐屯地）



陸上自衛隊による、救急時の対応技術の講義
（AEDの使い方・搬送の方法）



石狩川下流域外減災対策協議会

北海道上川総合振興局 危機対策室
減災に関する取組

石狩川下流の減災に関する取組【北海道上川総合振興局 地域創生部 危機対策室】

市町村の防災訓練・一日防災学校を通じた地域防災力の向上を図る取組

市民等を対象とした防災教育の実施、
防災意識の啓発

- 減災に関する取り組みを踏まえ、住民等が参加する防災訓練や一日防災学校等において、ハザードマップ（リスクの空白地、分散避難、立ち退き避難・屋内安全確保等にも付言）や、逃げ遅れの原因となる心理状態（正常性バイアス）等について、クイズやGp討議を活用して理解を促し地域防災力の向上を支援
- 市町村職員に対する災害対策本部訓練、避難所運営訓練の企画・実施を支援し災害対応力の向上に寄与

令和5年度に上川管内で実施した訓練支援及び一日防災学校
(黄色は石狩川下流水系市町村)

日時	訓練名	対象者	訓練内容等
6. 2	士別市災害対策本部訓練	職員等	洪水時における災害応急対策
7. 12・13	富良野市災害対策本部訓練	職員等	洪水時における災害応急対策
7. 25	幌加内町災害対策懇談会	自治会等	洪水等への備え・行動等
8. 30	東神楽小学校一日防災学校	1～3年生	洪水時の行動、避難所生活等
9. 4	旭川北高校一日防災学校	1～3年生	洪水時の行動、避難所開設等
9. 14	下川中学校一日防災学校	3年生	避難所運営(Doはぐ)等
9. 15	剣淵中学校一日防災学校	1～3年生	洪水時の行動、避難所生活等
9. 21	富良野東中学校一日防災学校	1～3年生	洪水時の行動、避難所生活等
9. 30	比布町災害対策本部訓練	職員等	洪水時における災害応急対策
10. 11	剣淵町職員防災研修	職員	避難所運営(Doはぐ)等
10. 13	比布町災害対策本部訓練	職員等	洪水時における災害応急対策
10. 22	中富良野町防災訓練	住民等	避難・誘導、避難所生活等
11. 3	比布町町民防災研修会	自治会等	避難所開設・運営等
12. 12	比布中央学校防災教室	4年生	洪水時の行動、避難所生活等



東神楽小学校一日防災学校
(避難所生活)



比布町災害対策本部訓練 (DIG)

石狩川下流の減災に関する取組【北海道上川総合振興局 地域創生部 危機対策室】

- 避難所運営ゲーム講師養成研修会
- 北海道地域防災マスター認定研修会及びフォローアップ研修

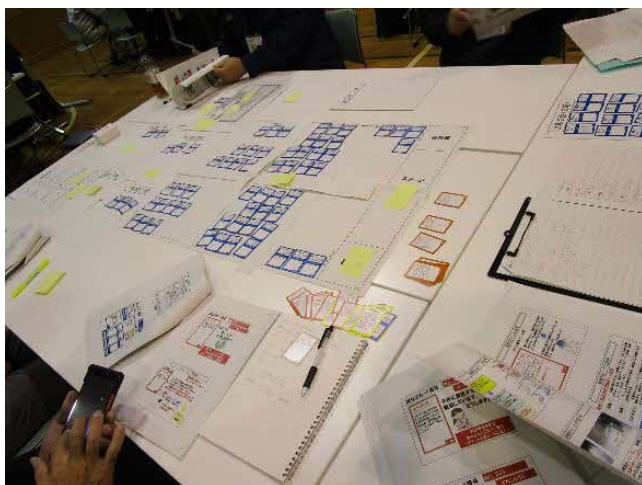
市民等を対象とした防災教育の実施、
防災意識の啓発

- 災害時における避難所運営を疑似体験できる「北海道版避難所運営ゲーム（Doはぐ）」を、多くの道民に普及させるため、「Doはぐ」の実施に必要な講師を養成する研修会を開催。
- 平常時や災害時における防災知識を習得し、地域における防災活動のリーダーとして地域防災活動を推進する「北海道地域防災マスター」を育成するため、中富良野町で新規認定研修会、既存マスターの防災知識のアップデート等を目的としたフォローアップ研修を富良野市で開催。



Doはぐとは？

真冬に直下型地震が発生し、電気等が使えない避難所を運営するという想定のもと、250枚のカードで示された様々な条件を、グループで話し合っ解決していく防災教育カードゲーム。



(左から) 避難所運営ゲーム講師養成研修会、北海道地域防災マスター認定研修会、北海道地域防災マスターフォローアップ研修

令和5年度 石狩川下流域外減災対策協議会

北海道の取組について

令和5年度 地域部会（第8回）
令和5年度 担当者部会（第2回）

北海道 空知総合振興局 札幌建設管理部
北海道 上川総合振興局 旭川建設管理部

R5年度 北海道の取組の概要

	項目	取組内容
1. ハード対策	洪水氾濫を未然に防ぐ	堤防整備の実施
		河道掘削の実施
		樹木伐採の実施
	大規模な水害による壊滅的な被害を軽減する対策	堤防天端保護工の実施
	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	水防拠点の整備
水位局の整備		



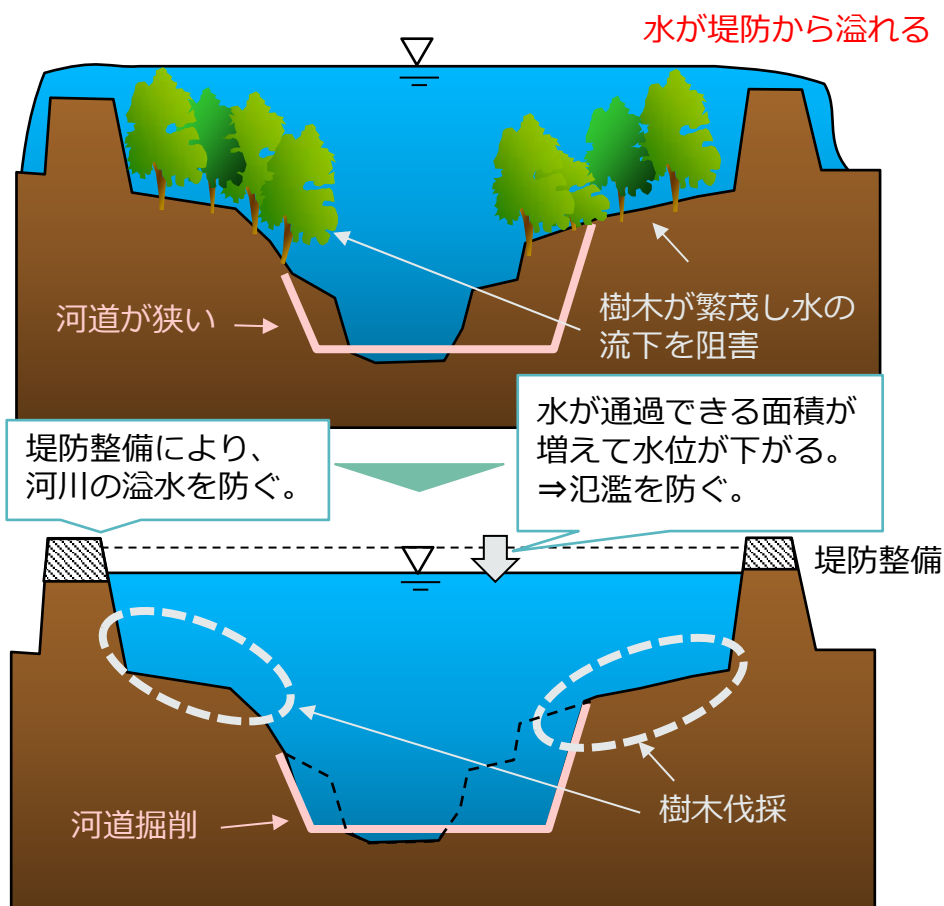
R4年度の実施状況とR5年度の取組について

1. ハード対策

1-1. 堤防整備、河道掘削、河道内樹木伐採

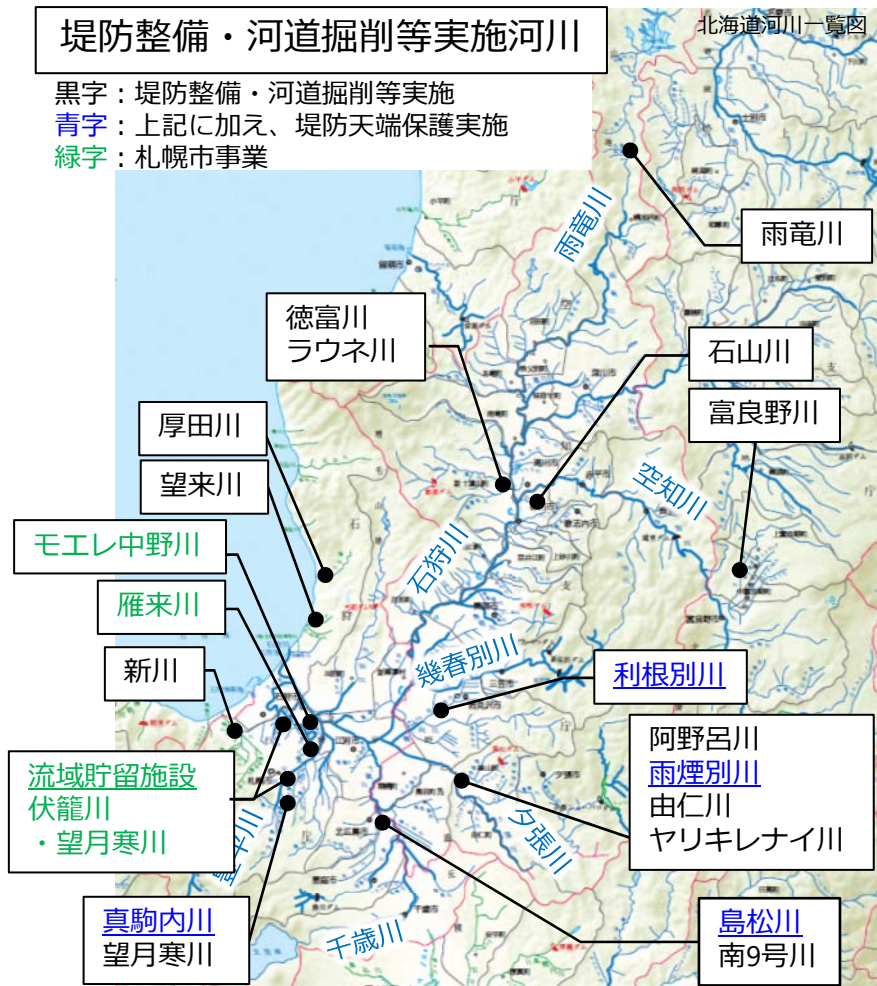
- ・洪水を安全に流下させ、洪水氾濫を未然に防ぐ対策（継続的に実施）
- ・堤防整備：河川の水が人家にある地域に侵入しないようにする。
- ・河道掘削・河道内樹木伐採：洪水時の水位を低下させる。

堤防整備・河道掘削・河道内樹木伐採



堤防整備・河道掘削等実施河川

- 黒字：堤防整備・河道掘削等実施
- 青字：上記に加え、堤防天端保護実施
- 緑字：札幌市事業



1. ハード対策

1-1. 堤防整備・河道掘削・河道内樹木伐採

豊平川部会：実施状況

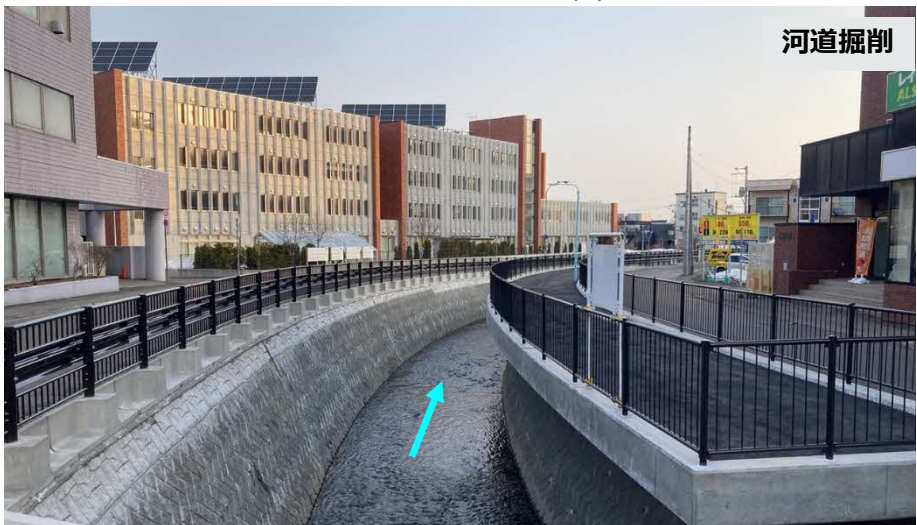
千歳川部会：実施状況



月寒川 施工済み箇所



南九号川 施工済み箇所



望月寒川 施工済み箇所



島松川 施工済み箇所



R4年度の実施状況とR5年度の取組について

1. ハード対策

1-1. 堤防整備・河道掘削・河道内樹木伐採

夕張川部会



雨煙別川 施工済み箇所

幾春別川部会



利根別川 施工済み箇所



阿野呂川 施工済み箇所



利根別川 施工済み箇所



R4年度の実施状況とR5年度の取組について

1. ハード対策

1-1. 堤防整備・河道掘削・河道内樹木伐採

雨竜川部会

空知川部会



ラウネ川 施工済み箇所



石山川 施工済み箇所



雨竜川 施工済み箇所



富良野川 施工済み箇所



R4年度の実施状況とR5年度の取組について

1. ハード対策

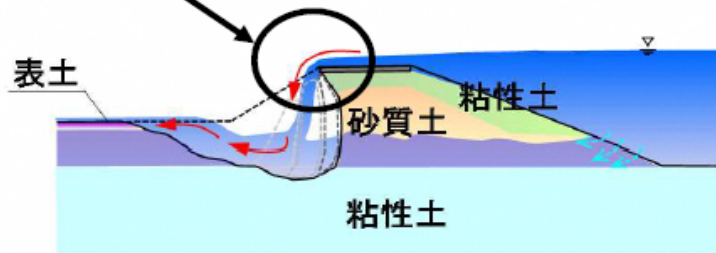
1-2. 堤防天端の保護

- ・ 氾濫が発生した場合にも被害を軽減する対策（継続的に実施）
- ・ 堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防崩壊の進行を遅らせる。
- ・ 堤防決壊までの時間を遅らせることにより、避難できる時間を延ばすことが可能。

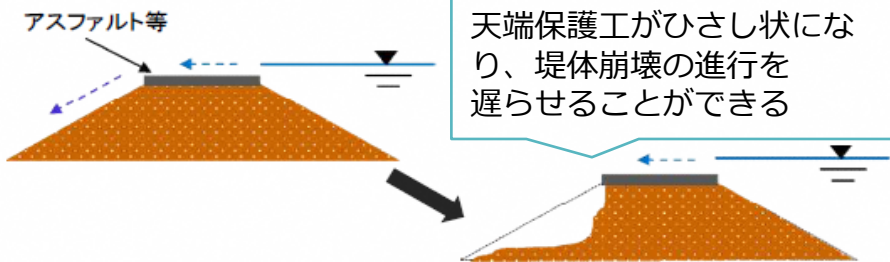
堤防天端の保護

堤防天端の保護

○ 堤防天端をアスファルト等で保護し、法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



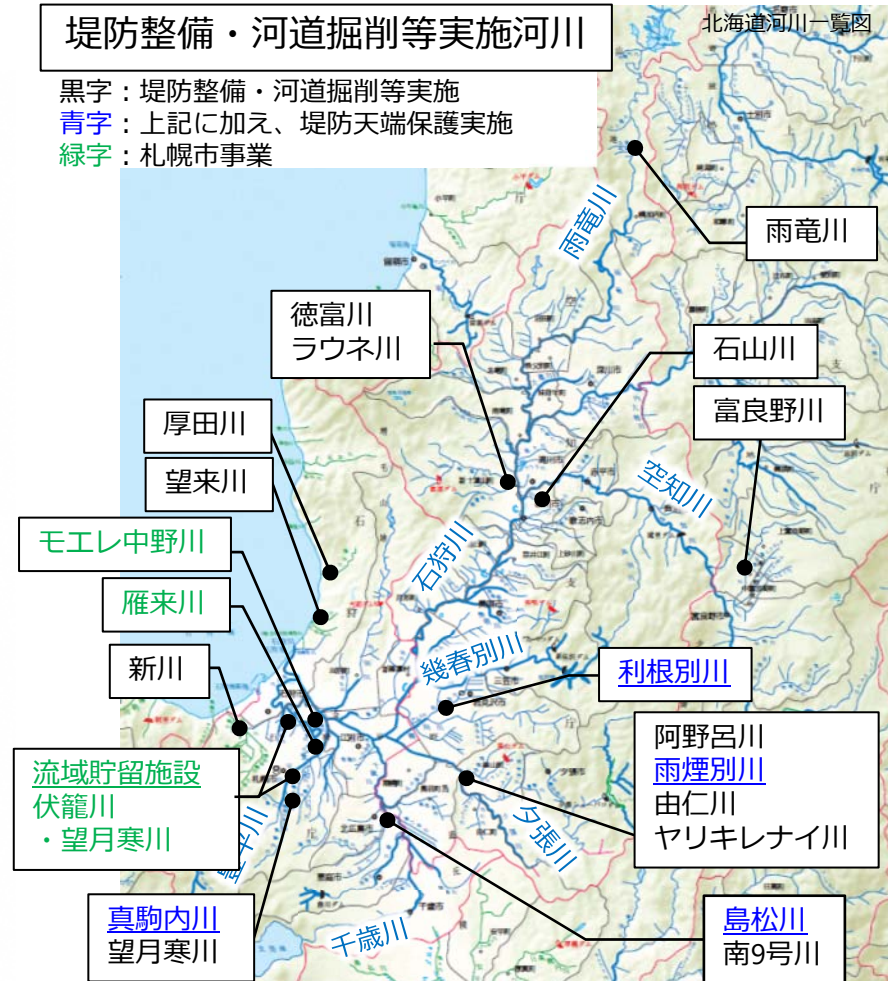
堤防天端をアスファルト等で保護した堤防では、ある程度の時間、アスファルト等が残っている。



天端保護工がひさし状になり、堤体崩壊の進行を遅らせることができる

堤防整備・河道掘削等実施河川

黒字：堤防整備・河道掘削等実施
 青字：上記に加え、堤防天端保護実施
 緑字：札幌市事業





R4年度の実施状況とR5年度の取組について

1. ハード対策

1-2. 堤防天端の保護

- ・洪水を安全に流下させ、洪水氾濫を未然に防ぐ対策
- ・堤防整備、河道掘削等の対策を継続して実施
- ・氾濫が発生した場合にも被害を軽減する対策（堤防天端の保護）についても実施

豊平川部会：実施状況



真駒内川 施工済み箇所

千歳川部会：実施状況



島松川 施工済み箇所

夕張川部会



雨煙別川 施工済み箇所

幾春別川部会

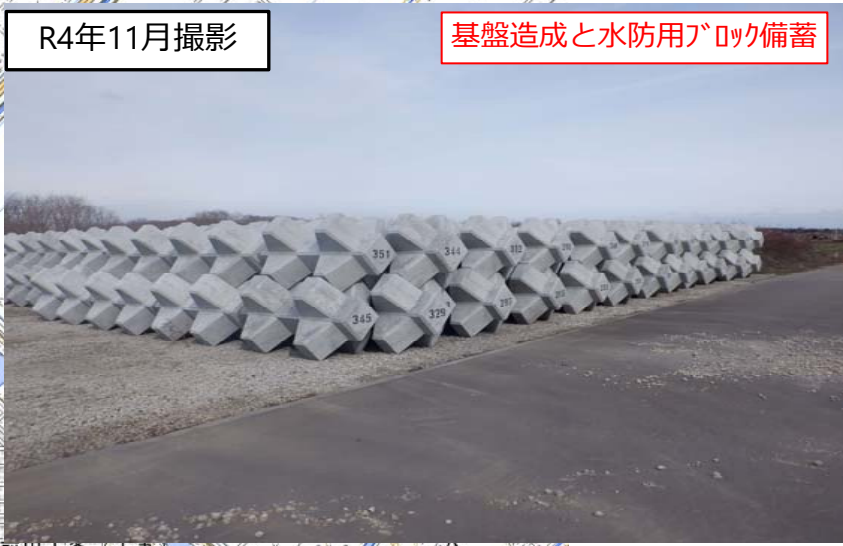
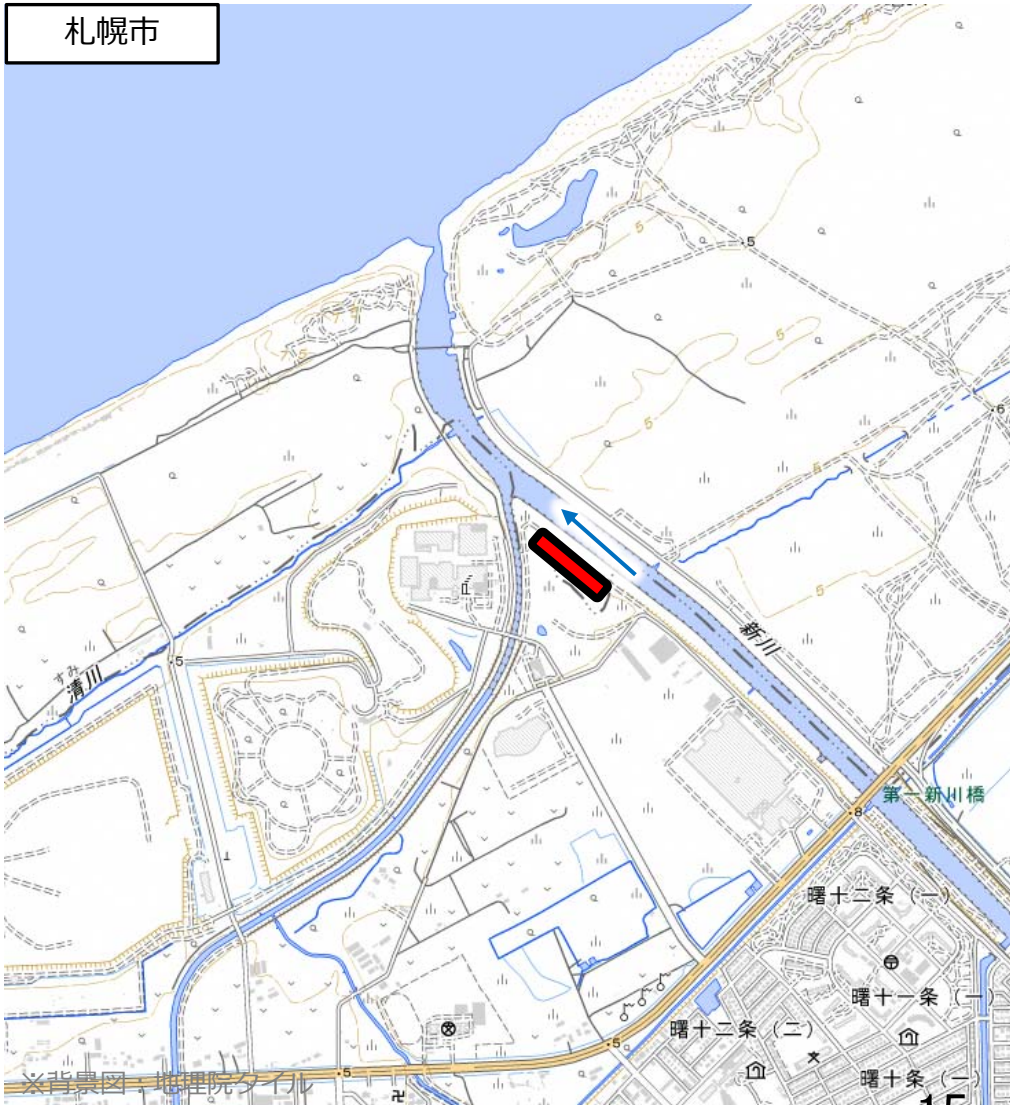


利根別川 施工済み箇所

R4年度の実施状況とR5年度の取組について

1. ハード対策 1-3. 水防拠点の整備

- ・ 札幌市内道管理河川の迅速な水防活動及び河川管理を行うため、水防拠点を整備中
- ・ 河川敷地を有効利用し、備蓄資機材の保管場所とする予定



夕張市

【夕張市】 減災・防災に向けた取り組み

・防災教室

小学校（学年別防災教室）、中学校（HUGの実施）と世代別に内容を考慮し、減災・防災についてグループディスカッションを実施した。自分達で考える機会をつくることを目的として防災教室を実施して、防災について意識向上を図ったもの。



・防災講話及び生活館機能維持事業

令和3年度事業として、各町内会（21組織）が運営する生活館等に発電機等の整備が図られ、防災講話と併せて、機器の点検要領及び取扱いについて説明を行い、地域住民の防災意識向上に努めている。

また、令和5年1月に防災マップが更新され、全世帯に配布されたことから、防災講話で内容説明も行っている。



【夕張市】 減災・防災に向けた取り組み



・水防訓練及び住民避難訓練

土砂災害を想定した訓練を消防本部・消防団・警察署が連携し、災害対応能力の向上と住民の防災意識向上を図ったもの。
また、自主防災組織による炊き出しを実施した。



・避難確保計画作成に係る説明

浸水想定区域における要配慮者施設が新たに対象となったことにより、対象施設へ説明を行い避難確保計画の作成を依頼している。

由仁町

■ テーマ：地域の防災・減災意識向上に向けた取組、課題等

【背景】

大規模な災害発生時に備えるべく、防災教育を一層充実させる必要がある。また、学校や行政及び各関係機関の連携を強化することにより、災害に対する対処能力の向上を目標として取り組んでいる。今年度については、小中学校を対象とした「1日防災学校」を計画した。

地域住民一人一人の意識を高めるため、災害時の備えに対する取組を周知していき、**地域全体で意識をさらに向上させることが今後の課題である。**

【回答】

◆取組：

- ・ 1日防災学校の実施
- ・ 災害対策本部訓練の実施

◆課題：

- ・ 地域住民の防災に対する意識の把握
- ・ 日頃からの防災教育の充実方法 など



令和5年9月に行った1日防災学校の様子

栗山町

令和5年度 石狩川下流域外減災対策協議会
夕張川上流担当者部会（第2回）

減災にかかわる栗山町の取組状況

栗 山 町

①防災教育に関する取組

【これまでの取り組み】

- 平成30年度より、学校だけではなく防災に関わる関係機関・団体（自衛隊・消防署等）と連携した「くりっ子防災教室（一日防災学校）」を行っている。
- 令和5年度は栗山高等学校や町内会等において、身近に起こりうる災害に対する防災意識の高揚を図るため、ハザードマップ等を活用した防災学習会を実施。



令和5年度 栗山高等学校・町内会等での防災学習の様子

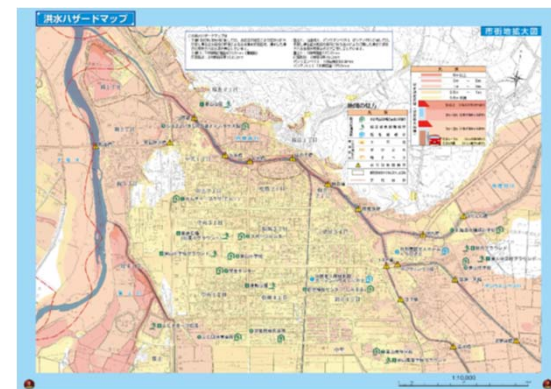
②避難行動の理解促進にむけた取組

【これまでの取り組み】

○毎年9月頃、大雨による河川の氾濫、土砂災害等の自然災害発生を想定した訓練（総合防災訓練）を実施。



○災害が発生した際に適切な行動をとることにより、災害から身を守ることを目的に、平成30年に町内全戸に「防災ガイドブック」を配布。



【今後の取り組み】

- 総合防災訓練や地域の避難訓練などを通し、住民の避難行動の理解を深める。
- 令和5年度に防災ガイドブックを更新し、令和6年4月に全戸配布予定
- ハザードマップ等のデジタル化（WEBハザードマップの導入・公開など）検討